

3月臨時会・定例会

28年2月14日弥富市議会議員一般選挙が行われ、16名による新たな議員でスタートしました。

臨時会を3月2日に開催し、議長はじめ議会選出監査委員・常任委員などを決定しました（構成は最終面をご覧ください）。

新体制による定例会を3月8日から25日までの18日間の会期で開催しました。

市長から初日に、平成28年度一般会計予算など44議案が提案され、所管の委員会に付託、審議し原案通り可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦については、初日に全会一致で推薦に同意しました。

各委員会で付託された審議内容は、委員会レポート（6頁〜7頁）をご覧ください。

一般質問には、11人が登壇し市政全般について質問しました（10頁〜）。

議案第1号
平成28年度弥富市
一般会計予算

質疑

質疑（平野 広行議員）

① 28年度予算編成で一番力点を置いた事業は。

② 本市のまち・ひと・し

ごと創生総合戦略が策定されたが、28年度予算にどの

ように組み込まれているか。

対策の中で災害に強いまちづくりを力を入れた。

答弁（秘書企画課長）

② 基本的に総合計画を踏まえ、まち・ひと・しごと

創生の趣旨に合致する施策・事業を総合戦略に盛り込んでいくことから特化した事業の取り込みはない。

答弁（開発部長）

③ 整備延長約2千40m、整備率は68%である。

残りは960mで、28年度は未整備区間のうち、210mを整備の予定。

今後の見通しは、未整備区間に対する継続的な国の財政支援を受けながら、地元と相談し順次整備を進めていきたい。

④ 鍋田町から国道23号線までの約1.4km区間の整備が進められ、地元と調整を図りながら用地取得を優先的に進め、昨年度より境内地で一部工事を行っている。

今後早期供用が図られるよう整備を進めると聞いている。

① 保育所給食調理業務を委託業務にすることは安心・安全から守れるのが大きな不安がある。

委託業務では、アレルギー対応の遅れ、配膳ミス、プラスチックの混入があるなど事故が発生している

と聞く。

本市では発生しないとは言えないので現行どおり市が行うべきではないか。

② 病児・病後児保育事業が来年度からスタートするが利用者が負担する単価の決定の経緯は。

答弁（児童課長）

① 食の安全は、小学生も幼稚園も保育園も変わるものではなく学校給食の食物アレルギーの対応の手引、給食調理業務の基準がありその基準をクリアした業者に委託する。

本市の学校調理業務は委託業者が行い10年以上の実績があり、事故が一度も起きたことはない。

子どもたちが安全に給食

を食べられる事業者を選定していく。

答弁（副市長）

① 委託業者にはミスがあり、市が雇用する調理員にはミスがないととれるがそれはおかしい話ではないか。

小・中学校で調理業務をしている委託業者は、プロポータルにより選定した業者であり、問題なく業務を行い、市で雇用する調理員と何ら変わりがないと私は自信を持って言える。

② 病気の子どもの預かる負担を考慮した報酬にしなければ協力会員は集まらないと考え、1時間当たり1千200円とし、この金額は、協力会員に支払う金額である。

利用者の負担を考慮し、上限の3千600円を超えた分については市が協力会員に支払う。

本市の料金より高いところもあれば、安いところもあるが、全てを安いところに合わせるわけにはいかな

いのも現状である。

① 財政健全化を念頭に予算編成中、防災・減災

答弁（市長）

① 財政健全化を念頭に予

算編成中、防災・減災

算編成中、防災・減災